

















































## 7. 床版工

確認時期	確認項目	留意事項	確認頻度
コンクリート打設時	品質規格	スランプ、空気量及び塩化物量について、規格値以内であるか確認する。また、1日当たりの打設量が100m <sup>3</sup> 以上の場合は、単位水量測定についても確認する。【品質管理基準 1セメント・コンクリート】	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
	天候、気温	天候、気温が施工上支障はないか把握する。	
	運搬時間	生コン車の伝票により、運搬時間を確認する。	
	打設方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練混ぜてから打ち終わるまでの時間が、外気温が25℃を超える場合で1.5時間以内、25℃以下の場合で2時間以内であるか確認する。</li> <li>・打設方法について、共通仕様書で定められた条件を満たしているか確認する。</li> </ul>	

## 8. コンクリート橋上部工（ポストテンション桁製作工、プレキャストセグメント主桁組立工、プレビューム桁製作工、PCホロースラブ製作工、PC版桁製作工、PC箱桁製作工、PC片持箱桁製作工、PC押し箱桁製作工、床版工・横組工）

確認時期	確認項目	留意事項	確認頻度
コンクリート打設時（工場製作を除く）	品質規格	スランプ、空気量及び塩化物量について、規格値以内であるか確認する。また、1日当たりの打設量が100m <sup>3</sup> 以上の場合は、単位水量測定についても確認する。【品質管理基準 1セメント・コンクリート】	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
	天候、気温	天候、気温が施工上支障はないか把握する。	
	運搬時間	生コン車の伝票により、運搬時間を確認する。	
	打設方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練混ぜてから打ち終わるまでの時間が、外気温が25℃を超える場合で1.5時間以内、25℃以下の場合で2時間以内であるか確認する。</li> <li>・打設方法について、共通仕様書で定められた条件を満たしているか確認する。</li> </ul>	

## 9. 橋梁耐震補強工（落橋防止装置工）

確認時期	確認項目	留意事項	確認頻度
削孔後	削孔長	曲がらない定規により測定。設計図書と対比し、規格値内であるか測定する。【出来形管理基準10-16-22橋梁耐震補強工（アンカーボルト）】	一般：30% 重点：60%
定着後	アンカーボルト定着長	超音波探傷器により測定。設計図書と対比し、規格値内であるか測定する。【出来形管理基準10-16-22橋梁耐震補強工（落橋防止装置工）】	

## 10. トンネル工

確認時期	確認項目	留意事項	確認頻度
施工時（支保工変更毎）	施工状況	掘削方法、支保工（吹付、ロックボルト、鋼製支保工）、覆工、インバート工について、設計図書や施工計画書と対比し、所定の方法で施工を行っているか確認する。	一般：1回／支保工変更毎 重点：1回／支保工変更毎。ただし、最低10支保工毎。

### 11. 抑止アンカー工（グラウンドアンカー）

確認時期	確認項目	留意事項	確認頻度
削孔時	定着地盤	削孔スライムやアンカーの削孔データ等から、定着地盤が設計図書どおりの位置であるか確認する。	一般：1回/10本 重点：1回/5本
削孔完了時	削孔深さ、せん孔方向	設計図書と対比し、規格値以内であるか確認する。【出来形管理基準 3-2-14-6 アンカー工】	
アンカー体組立時	使用材料	監督員の確認又は承諾（品質・規格）を受けた材料を適切に使用しているか確認する。	
グラウト注入時	フロー値、加圧力	・フロー試験を行い、規格値内であるか確認する。 ・加圧力を計測し、加圧注入が適切に行われているか確認する。	
緊張時	緊張力、定着力	多サイクル確認試験や1サイクル確認試験を行い、所定の緊張力が導入されているか、設計どおりの定着力が得られているか確認する。	

### 12. 盛土工（河川、砂防、海岸）

確認時期	確認項目	留意事項	確認頻度
敷均し、転圧時	使用材料	設計図書に定められた盛土材料（購入土、流用土）を使用しているか、不純物が混じっていないか等を確認する。	一般：1回/1工事 重点：2回/1工事
	敷均し・締固め状況	敷均し及び締固めについて、一層の仕上り厚さが共通仕様書どおりであるか確認する。	

### 13. 路体盛土工、路床盛土工

確認時期	確認項目	留意事項	確認頻度
敷均し、転圧時	使用材料	設計図書に定められた盛土材料（購入土、流用土）を使用しているか、不純物が混じっていないか等を確認する。	一般：1回/1工事 重点：2回/1工事
	敷均し・締固め状況	敷均し及び締固めについて、共通仕様書に定められた施工方法を行っているか、1層の仕上がり厚さが規定値内であるか確認する。	

### 14. 舗装工（橋面防水工、アスファルト舗装工、半たわみ性舗装工、排水性舗装工、透水性舗装工、グースアスファルト舗装工、コンクリート舗装工、薄層カラー舗装工、ブロック舗装工、路上再生工）

確認時期	確認項目	留意事項	確認頻度
舗設時	使用材料	監督員の確認又は承諾（品質・規格）を受けた材料を適切に使用しているか確認する。	一般：1回/1工事 重点：1回/3000m <sup>3</sup>
	敷均し・締固め状況	・敷均し及び締固めについて、共通仕様書に定められた施工方法を行っているか、1層の仕上がり厚さが規定値内であるか確認する。 ・コンクリート舗装に鉄網や縁部補強鉄筋、目地を設ける場合は、設計図書どおりであるか確認する。	
	天候・気温・舗設温度	天候、気温が施工上支障はないか把握する。  [加熱アスファルト安定処理、基層、表層のみ適用] 混合物の舗設温度が規定値内であるか確認する	



### 15. コンクリート舗装補修工

確認時期	確認項目	留意事項	確認頻度
施工時	使用材料	監督員の確認又は承諾（品質・規格）を受けた材料を適切に使用しているか確認する。	1回／1工事
	使用量	アスファルト注入材料の使用量を質量検収により確認する。	

### 16. 現場塗装工

確認時期	確認項目	留意事項	確認頻度
清掃・錆落とし施工時	清掃・錆落とし状況	清掃、錆落としが適切に実施されているか確認する。	1回／1工事
施工時	使用材料	監督員の確認又は承諾（品質・規格）を受けた材料を適切に使用しているか確認する。	
	天候、気温	天候と気温が施工に適しているか把握する。	

### 17. 樹木・芝生管理工、植生工（施肥、薬剤散布）

確認時期	確認項目	留意事項	確認頻度
施工時	使用材料	監督員の確認又は承諾（品質・規格）を受けた肥料や薬剤を適切に使用しているか確認する。	1回／1工事
	天候、気温	天候と気温が施工に適しているか把握する。	

### 18. 植栽維持工

確認時期	確認項目	留意事項	確認頻度
現場搬入時	使用材料	監督員の確認又は承諾（品質、規格）を受けた材料が搬入されているか確認する。	1回／1工事

### 19. 地下水位低下工（ウェルポイント、ディープウェル）

確認時期	確認項目	留意事項	確認頻度
施工前	土質、地下水位、透水係数、湧水量等	掘削完了後、土質、地下水位、透水係数、湧水量等を確認・計測。設計図書等と比較し相違はないか確認する。	1回／1工事

### 20. 光ケーブル配管工（配管工）

確認時期	確認項目	留意事項	確認頻度
施工前	使用材料	監督員の確認又は承諾（品質、規格）を受けた材料を適切に使用しているか確認する。	1回／1工事
施工後	接続状況	埋設管路については防護コンクリート打設後又は埋戻し後に、また、露出・添架配管についてはケーブル入線前において、通過試験を行い、管路が完全に接続されているか確認する。	

## 21. 現場点検

確認時期	確認項目	留意事項	確認頻度
工事着手前又は着手直後、及び工事中間時	現場点検	支障物件（上下水管、電線、立木など）の状況や、現地と計画上の不整合はないか、取付道や用水路の確保など付帯工事に漏れはないか、安全対策や施工方法は適切か、施工途中の構造物に異常はないか等、施工上支障となる事項や何らかの問題点はないか現場全般に渡り点検する。	2回以上/工事 ただし、維持的工事（伐開、河床掘削、舗装補修、道路維持、植栽管理等）など比較的軽易な工事は除く。 工事中間時は、工事進捗が概ね50%の時点を目安とする。

## 22. 自社施工対象工事

確認時期	確認項目	留意事項	確認頻度
自社施工要領「別表第6欄」による	自社施工要領「第2条」に定める条件	自社施工要領「第6条（施工体制の事前確認）」を行ったうえで、左記の確認時期に「第7条（施工体制の現地確認）」に基づき現場確認を行い、自社施工要領「様式第2号」に記録する。	自社施工要領「別表第7欄」による

※自社施工要領：鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領